

現地事例による稲ホールクroppサイレージ(稲WCS)の生産費比較

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

宮城県内における稲WCSの生産は、平成20年には800haを越す面積となっている。そのうち専用機によるダイレクト体系（立毛状態のWCS用イネの刈取りと梱包作業を行う）が半分以上を占め、特に宮城県農業公社（以下、公社）は収穫及び梱包(ラップ)作業の約4割を受託しているなど、大きな存在となっている。

また、収入を助成金等に依存している面も大きく、生産費の低減も課題となっているため、A生産組織での現地調査結果から、公社に収穫・梱包作業を委託するケースの生産費を試算し、より低コストな生産に向けた比較を行ったので、参考資料とする。

2 参考資料

1) 耕種農家(組織)が水田に稲WCSを導入するメリットとして、主食用水稻と同じほ場条件で作付けでき、水稻の栽培技術が活かせることに加え、収穫作業等を委託した場合には特別な機械が必要なく(表1)、さらに公社への委託では面積当たりの費用が固定されている。

2) 稲WCSの10a当たり生産費は、64,629円である(表2)。

3) A組織の現行栽培(移植)を基に、無肥料栽培及び乾田直播栽培で生産した場合の10a当たり費用を試算すると、無肥料では59,753円となり、乾田直播では58,265円となる(表3)。

また、10a当たり収量は現行で12ロール(単価は3,000円)となるが、無肥料で3ロール、乾田直播では2ロール減少し、1ロール(約300kg)当たりの費用ではそれぞれ5,386円と6,639円及び、5,827円となる(表3)。

4) A組織の稲WCS10a当たり収益は5,171円となる。さらに、乾田直播栽培を導入すると現行に比べ収益が364円増加する(表4)。

3 利活用の留意点

公社以外の専用機を所有するコントラクター等は5組織あり、そのうち3組織において作業料金を公社に準じ設定している。

(問い合わせ先：農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8119)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

東北中部水田地帯における受託組織による飼料用稲生産・給与技術の実証と耕畜連携システムの確立

(3) 受託システムによる飼料用稲の生産・利用の経営的評価と定着条件の解明（平成18～21年度）

2) 参考データ

	円	備考	
水稻生産費用	31,929		
うち 種苗費	1,500	種子購入代	A生産組織
肥料費	4,876		
農薬費	2,261		
光熱動力費	661		平成21年WCS用稲
諸材料費	2,923	育苗用	栽培面積6.42ha(うち直
労務(働)費	11,830	時給1,000円	播1.0ha) 品種は「夢あ
機械借上料	7,878		おば」, 10当たり平均収
生産管理費	-		量12ロール(1ロール約
支払地代等	10,000	農林水産統計参照	300kg), 作業機械は構
収穫調整費用	22,700	公社への支払い	成員等より借り上げ, 種
一般管理費	-		苗費は自家採種分も考
費用合計	64,629		慮して算出している。

	現行(移植)	無肥料	乾田直播	
水稻生産費用	31,929	27,053	25,565	現行(移植) A生産組織のH21年度実績(WCS6.42haほか大豆、麦生産)より試算。 収穫調整費用は農業公社への支払い料金。
支払い地代等	10,000	10,000	10,000	
収穫調整費用	22,700	22,700	22,700	
一般管理費	-	-	-	
費用合計	64,629	59,753	58,265	無肥料 現行(移植)において無肥料栽培で収穫が9ロール(現地のH19年成績参照)であったとし、現行より肥料代(実績4,876円/10a)を差し引いて試算。
収量(ロール数)	12.0個	9.0個	10.0個	乾田直播 乾田直播により実施場合の試算。現行(移植)より、作業の2.85時間短縮(時給1,000円)と育苗の諸材料費(2,923円/10a)および代掻き不用による機械借り上げ料(900円)の合計を差し引き、シーダー借り上げ料(315円)を加算して試算。
売上(個単価3,000円)	36,000	27,000	30,000	
ロール(300kg)当たり費用	5,386	6,639	5,827	
売上-費用合計	-28,629	-32,753	-28,265	

	現行(移植)①	乾田直播②	差額(②-①)
組織収入	59,800	53,800	-6,000
ロール売上	36,000	30,000	-6,000
転作管理料	10,000	10,000	-
補助金等	13,800	13,800	-
組織支出	54,629	48,265	-6,364
水稻生産費用	31,929	25,565	-6,364
収穫調整費用	22,700	22,700	-
一般管理費	-	-	-
組織収益	5,171	5,535	364

3) 発表論文等

なし

4) 共同研究機関

古川農業試験場 畜産試験場